

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
精神看護学		BNNSS3L39	31001	2前	2(30)	必修
担当教員	高橋 康子	実務歴	有	看護師として病院/診療所/保健センターで4年勤務		
担当教員	三林 聖司	実務歴	有	准看護師・看護師として病院に22年勤務		
概要	精神科病院および地域社会における精神保健及び看護活動に必要な心構えを学ぶ。					
学修目標	1) 精神の「健康」および「障がい」を説明できる。 2) 精神医療の現状を説明できる。 3) 精神看護に必要な人権問題および倫理を説明できる。 4) 精神看護に必要な基礎的知識を習得することができる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		
1	オリエンテーション 精神看護学で学ぶ内容			教科書の目次を読む。①目次:P3-12		
2	精神看護とは何か、その位置づけと役割			①P2-6を講義前後に読む。		
3	日本の精神医療の現状と課題			①P8-16を講義前後に読む。		
4	精神の健康・不健康とは何か			①P26-38を講義前後に読む。		
5	危機理論・ストレス理論			①P38-44を講義前後に読む。		
6	リカバリ・レジリエンス			①P49-51を講義前後に読む。		
7	意識・感情・学習と行動			①P54-64を講義前後に読む。		
8	知能・こころの理論			①P64-78を講義前後に読む。		
9	こころの働きを理解するための諸理論(1) ユング・エリクソン			各発達理論について整理する。①P70-78		
10	こころの働きを理解するための諸理論(2) フロイト			フロイトについて整理する。①P78-87		
11	こころの働きを理解するための諸理論(3) クライン・ポールビー・コフォート			各発達理論について整理する。①P87-101		
12	家族とこころの健康問題			その原因と対処法について整理する。①P108-128		
13	集団とこころの健康問題			その原因と対処法について整理する。①P128-143		
14	思考の障害・感情の障害・意欲の障害			各障害を整理する。①P150-157		
15	知覚の障害・意識の障害・記憶の障害			各障害を整理する。①P158-163		
16	前半のまとめ			前半部分をもう一度整理し、理解を確実にする。		
17	統合失調症の症状・治療			統合失調症の症状と治療を整理する。①P165-183		
18	統合失調症の看護			統合失調症の看護を整理する。①P165-183		
19	気分[感情]障害の症状・治療			気分障害の症状と治療を整理する。①P183-192		

20	気分[感情]障害の看護	気分障害の看護を整理する。①P183-192
21	神経症性障害・ストレス関連障害・身体表現性障害の理解と看護	各疾患に対する看護を整理する。①P193-P203
22	摂食障害・睡眠障害・パーソナリティ障害の理解と看護	各疾患に対する看護を整理する。①P203-209
23・24	精神疾患をテーマとした映画鑑賞 〈(※1)レポート課題あり〉	映画の主張を読み取り、そこからの学びを書き表す。
25	認知症・症状精神病の理解と看護	各疾患に対する看護を整理する。①P209-219
26	てんかん・発達障害の理解と看護	各疾患に対する看護を整理する。①P225-233
27	精神科リハビリテーションと退院支援	精神科リハビリテーションと退院支援を整理する。
28	包括的地域生活支援	包括的地域生活支援の内容を整理する。
29	精神障害と治療の歴史	①P262-304を講義前後に読む。
30	全講義のまとめと重要ポイントの確認	全体を通しての重要ポイントをしっかりと押さえる。
使用 テキスト	①:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学の基礎 ②:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学の展開 * この2冊は後期「精神看護学演習」と共通です	
参考図書	武井麻子著『精神看護学ノート』. 医学書院	
成績評価 基準	(※1)レポート10%、定期試験90%	